

# 大すき小がっこう

大村小学校 学校だより  
R3.11.9(火) 第18号  
校長 中嶋 邦治



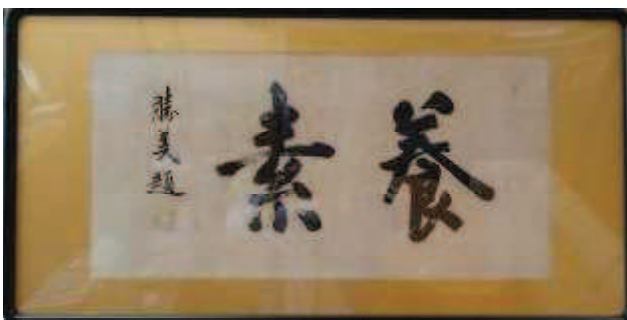
「どうして毎日漢字の練習が宿題なの？ 覚えていれば書かなくてもいいんじゃないの？」

先日子どもからこんな質問を受けました。確かに漢字と計算は、どこの学校でも宿題の定番です。「こんなの分かってるのに！」そう思いながらいやいや取り組んでいる子どもも多いはず。でも、ちゃんと理由があるのです。

【漢字の練習でつく力】もちろん漢字を読んだり書いたりできるように知識を増やすためです。でも実はもう1つ大事な理由があります。練習をすれば結果がすぐに出やすいのが漢字練習。つまり、「頑張ればできる！」という成功体験を積ませることにあります。学校では小テストをしたり試験の事前予告をしたりしながら、「やったーできた。やればできる」という自信とやる気をもってほしいと考えています。



【素 養】校長室に掛けてある1枚の額縁。左の方に「勝美題」と名前があります。



黒板勝美(1874~1946)

大村出身で東京帝国大学に進み、同大学の教授となる。古い書物を読み解き、文学や歴史、政治を研究した。日本古文書学という学問を切り開いた。

素養(そよう)とは、練習や学習で身につけた力や知識のこと。生まれもった才能をいう素質(そしつ)とは異なります。黒板先生は、豪快で大らかな方だったそうですが、いざ研究となると、人が驚くほど細かなことまで詳しく調べ、集中されたのだそうです。

「素養」という書が学校に送られていることから、「毎日の練習や学習が最も大切です。努力が人格を作り、夢や希望を育てますよ」と子供たちに教えてくださっているのだと思います。継続は力なり・・・です。

**修学旅行に行ってきたま〜す** 当初降水確率50%から30%へ。あとはてるてる坊主をお願いするばかりです。旅行にかかる費用は、約2万2千円とお小遣い4千円。でもコロナ後の経済活性化対策として県や平戸市から総額9千円の補助がいただける予定です。この中の2千円分はお買い物クーポン券。ちょっとやっかいなのは、千円クーポン券を使うとお釣りはもらえません。つまり千円以上のお買い物をして端数は自分のお金で払うのが理想的。工夫がいります。でもこれもまた生きた教材です。何はともあれ、宿泊付きの旅行ができることに感謝！ 精一杯楽しむことができます。

